

令和6年度第1回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日 時： 令和6年7月12日（金） 13:00～15:30

会 場： 秋田県立近代美術館 研修室（6F）

出席者：	会 長	打 川	敦	横手市観光推進機構理事長
	副会長	木 村	智 子	横手市教育委員会生涯学習課長
	委 員	岩 野	玲 子	横手市立横手南小学校長
	〃	黒 木	健	東北芸術工科大学非常勤講師
	〃	齊 藤	千 秋	株式会社秋田ふるさと村営業部副部長
	〃	佐々木	美 香	秋田市地域おこし協力隊
	〃	三 戸	忠 洋	株式会社秋田魁新報社 文化部長
	〃	鈴 木	竜 典	R-room 鈴木竜典写真室 代表
	〃	藤 田	和 彦	日本放送協会 秋田放送局 副局長
事務局	森 川	勝 栄	秋田県教育庁生涯学習課主任学芸主事	
〃	仲 町	啓 子	秋田県立近代美術館 特任館長	
〃	田 中	博 光	〃 館 長	
〃	高 久	豊	〃 総務チーム副主幹(兼)チームリーダー	
〃	石 井	和 章	〃 〃 専門員	
〃	福 田	裕 奈	〃 〃 主任	
〃	須 田	愛 美	〃 〃 主事	
〃	木 村	雅 洋	〃 学芸チーム学芸主事(兼)チームリーダー	
〃	秋 田	達 也	〃 〃 副主幹(兼)学芸主事	
〃	保 泉	充	〃 〃 主査(兼)学芸主事	
〃	藤 井	正 輝	〃 〃 学芸主事	
〃	北 島	珠 水	〃 〃 〃	
〃	奈 良	香 京	〃 〃 〃	
〃	鈴 木	京	〃 主査(兼)学芸主事	

<次第>

1. 開会
2. 任命書交付
3. 特任館長あいさつ
4. 委員・職員紹介
5. 館内視察
6. メタバース×キンビ 実演・体験
7. 会長選出
8. 協議
 - (1) 令和5年度近代美術館事業の概況について
 - (2) 令和6年度近代美術館事業の概要について
 - (3) 特別展・企画展・コレクション展アンケート集計結果について
 - (4) 令和6年度教育普及・事業等の概要について
 - (5) 令和6年度あきたMuseum機能強化事業「Museum特別展充実事業」と外部評価について
 - (6) その他
9. 閉会

<協議概要>

（発言者：●委員 →事務局）

- セカンドスクールの利用について、学校側でももっと広く周知を図り、積極的に活用を進めていながら学びの質を上げていきたい。子供たちが美術館に足を運ぶには、まず大人が興味をもつことだと思う。地区の校長会議を通して話題にし保護者に周知を図りながら、学校だけの話題にならないようにしていきたい。

- 今年は金曜ロードショーとジブリ展に大きな期待をこめて、ふるさと村の来場者の目標も、60万人と大きく掲げている。最近美術館巡りツアーで訪れるお客様が増えてきた。近代美術館の特徴の1つとして、コレクション展が無料で観覧出来ることはあまり知られていない。旅行会社の方にも興味を持っていただける部分でもあるので、その部分を強調することで立ち寄りやすくなるのではないかな。
- 東京などでは美術館や博物館は日常にある。例えばお茶をする、人と待ち合わせをする、少し雨宿りをするというように、気軽に立ち寄れる場所である。秋田県の近代美術館、博物館では入館料が無料にもかかわらず、そのような利用をする人が少なく感じる。企画展はとても魅力的だが、周知が足りないのではないかな。美術作品を見た後に少しお茶だとか、少しお話をしたいときに、行く場所が限られる。皆様と一緒に地域の活性化も含めて盛り上げていきたいと思う。
- 岩合光昭写真展「こねこ」について、NHKで岩合さんとの番組があるので、早い段階で分かっていたら、ギャラリートークや講演会などで協力できたことがあったかもしれない。現在、新聞社や報道局の間で、連携をとってこういう動きがあり、他局の企画だからといって関わらないということではなく、お互いに地域を盛り上げようという意識は高くなっている。ほんの思いつきでも声をかけていただければ、何か協力できるかもしれない。
- 県内の展覧会市場が縮小しており、大型の展覧会は国立の美術館を中心に巡回をするケースが増えてきている。以前は地域の公立美術館を巡回していた記憶があるが、少なくなっている。地域が縮小されていく中で、文化の一極集中を避けなくてはならない。地域の拠点となっている公立の美術館の活動が大事だと思う。
- メタバース×キンビが世界中からアクセスして見られるということは、非常に画期的なことだと思う。メタバースをきっかけに、本物を見に横手に来てもらうという流れが生まれれば良いと思う。
メタバースのアクセス数はどの程度か。また、どのようなPR活動をしているのか。
- 4月20日にリニューアルしたホームページと一緒に一般公開しており、およそ2ヶ月程度で2,600を超えるアクセス数となっている。メタバースを訪れた人数は1,080人を超えている。メタバース空間でも、実際の展覧会と同じように展示替えを行い、イベントとの連動で実際の美術館との行き来を意識させることに繋げていきたい。あきた県庁出前講座でメタバースを体験してもらうメニューを取り入れており、まず多くの方に体験していただく年にしたい。PR活動としては、新聞やテレビ番組でも取り上げていただいている。今後ともご協力いただけるとありがたい。
- 横手という立地は他県からもアクセスしやすく、県外にも開かれている美術館と言える。東北を旅する方向けなど、隣県の美術館との連携はあるのか。
- 作家の作品をまとめてお借りしたり、当館収蔵の作品を他館にお貸ししたりしている。他館で当館の収蔵品もご覧いただく取り組みをしている。金曜ロードショーとジブリ展でも隣県への広報計画を考えている。
- 能代エナジウムパークで出前美術展を開催している趣旨は、やはり県北などは距離的に遠いということで企画しているのか。
- おっしゃるとおりである。能代エナジウムパークでは、展示に関する経費を負担していただけるということで、非常によく連携がとれ、ここ数年ご協力いただいている。また、学校に出向く「出前美術館」というものもある。こちらは近年の生徒数減少の影響や予算的な問題からなかなか難航しているが、県北の学校に作品を観ていただく機会を提供していけたらと考えている。

●ホームページ上でメタバース×キンビを体験するときも、専用ゴーグルなどの機材をつける必要があるのか。

→Windowsのパソコンに限られるが、マウスとキーボードで操作ができる。本日はより没入感の高い体験をしていただければと思い、専用の機材を使用した。使い方の例として、学校でも、画面の様子を電子黒板に映し出して、画面の中でアバターとして学芸員が登場して解説をするといった多様な使い方もできる。基本的にはパソコンでの利用を想定している。

●金曜ロードショーとジブリ展でオンラインチケットが初めて導入されるということだったが、申込みは近代美術館のホームページから購入できるのか。

→金曜ロードショーとジブリ展の公式ホームページから秋田展を選択して購入する。

●新型コロナウイルス感染症が流行してからオンラインチケット制が増えてきたと思うが、購入が難しく、それによって今まで気軽に立ち寄れる場所だったのが足が遠のいてしまうのではないか。高齢の方が多い地域だが、オンラインチケットについてどれだけ周知できるのか。

→金曜ロードショーとジブリ展公式ホームページやテレビCMでも日時指定であること、当館では購入できないことをお知らせしている。また、オンラインチケットの他に、ローソンなどで紙のチケットを購入することができるため、インターネットでの購入が難しい方にはそちらの購入方法を案内するようにしている。

●みんなのキンビプロジェクトについて、障害のある方々への広報・交流はどのように行っているのか。障害者福祉協会や、県・市の団体等との交流はあるのか。

→今回は視覚障害者福祉協会さんと鑑賞支援ツールを作成したり、県内各地の特別支援学校に作品の募集をしている。少しずつ繋がってきてはいるが試行錯誤しており、交流の仕方についてぜひ教えていただきたい。